

農業委員会・行政・農業会議が

一体となって、担い手に農地集積、集約！

京丹波町で3年以上に亘り受け手を探していた農地が、今年11月、**最適化推進委員との連携により**借受希望経営体へと集約。

委員らが隣接農地所有者と十分な話し合いを行い、協力を得て、**農地利用の最適化に繋がった事例**を紹介する。

担い手に集積・集約されるまでの経緯

土地所有者が、営農継続が困難になった6筆、約60aの農地の貸付を希望。(図Aの黄色部分)

農地の状況確認
借受希望経営体へ情報提供活動

[農地の状況]

- ・安定的な営農には**獣害柵の設置が必要**。
- ・貸付希望農地が**集約されておらず分散**している。
- ・ICから**離れており、外部の担い手の通作が困難**である。

関係者が情報提供活動を**継続**

- ・区域外の借受希望経営体が、**貸付希望農地に加えて近隣農地約50aの借り入れを強く希望**。

借受希望者・農地所有者の意向を詳細に確認

- ・**近隣の土地所有者は継続しての営農を希望**。(獣害柵設置を町に要望)

地域の最適化推進委員を介して獣害柵設置についても双方の意見を整理したうえで役場の担当とも調整し、図Bのように農地の集積・集約化が実現した。

借受希望経営体：

貸付希望登録農地の6筆の内4筆に加えて、**隣接する土地所有者の協力も得られたため農地3筆も合わせて農地中間管理事業で借受け、町の補助により借受農地の獣害柵設置を導入**。

近隣の土地所有者：

今回3筆の貸し付けを理解された隣接所有者は、新たに自宅前の4筆を今後も耕作。(うち2筆は貸付希望農地と**利用権を交換し集約化**を行った)



様々な理由で営農継続が困難となった農業者・農業経営体から農地中間管理機構に相談が寄せられる中、京都府、市町村農業振興・農業委員会等関係機関が連携し、農地の集積・集約に繋ぐことができた。今後も、農業委員会・行政と農業会議が一体となって、地域農業の支援の取り組みを上げていきたい。

◎借受希望者募集 令和元年4月～10月までの応募状況

令和元年度4月～10月までの農用地等の借受希望の応募状況は以下の表のとおりです。

今年度の応募では、法人の多くが1ha以上の農地を希望しています。8月には福知山市の法人が約20haの借受を希望しました。

また、舞鶴市ではほ場整備事業が完了した地域の担い手から1人あたり平均2haの借受希望がありました。

地域	市町村名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
京都 ・ 乙訓	京都市	3	1.7	5	4.0	3	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	向日市	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	長岡京市	1	0.7	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	大山崎町	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	6	3.8	6	6.0	3	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
山城	宇治市	1	4.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	城陽市	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	久御山町	1	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	京田辺市	0	0.0	2	2.5	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	宇治田原町	1	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	木津川市	0	0.0	4	6.5	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.2	0	0.0
	和束町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0
	精華町	0	0.0	2	2.5	0	0.0	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	3	9.5	10	12.5	0	0.0	4	1.2	0	0.0	2	0.5	0	0.0
南丹	亀岡市	1	0.7	1	0.5	2	0.8	0	0.0	1	0.3	1	0.2	0	0.0
	南丹市	2	1.4	2	1.0	1	0.3	2	3.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5
	京丹波町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	2	1.0	0	0.0
	小計	3	2.1	3	1.5	3	1.1	2	3.0	2	1.0	3	1.2	1	0.5
中丹	綾部市	0	0.0	1	0.3	1	0.2	0	0.0	1	0.1	0	0.0	1	5.0
	福知山市	0	0.0	1	0.9	0	0.0	1	0.4	1	20.1	0	0.0	1	0.1
	舞鶴市	5	10.0	1	0.5	2	0.7	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0
	小計	5	10.0	3	1.7	3	0.9	1	0.4	3	20.4	0	0.0	2	5.1
丹後	宮津市	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	与謝野町	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	3	0.5	1	0.2
	伊根町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	京丹後市	5	4.7	5	6.8	1	0.1	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0
	小計	5	4.7	5	6.8	2	0.4	1	6.0	1	0.5	3	0.5	1	0.2
合計	22	30.1	27	28.5	11	3.9	8	10.6	6	21.9	8	2.2	4	5.9	

今後、営農できない農地が増えることが考えられる集落などでは、農地をできるだけまとめて農地中間管理機構の貸付希望農地に登録しましょう。効率的に営農したいと考えている法人などに貸し付けることができれば地域の農地を守ることができます。

農地を借り受けてくれる担い手を見つけるのには時間がかかる場合もありますが、農地の集約など、地域で話し合っ担い手が営農しやすい状況を整えることで、借受者が見つかりやすくなります。今ある農地が荒れてしまう前に地域で話し合いを進めましょう。